

地域連携センター



09.06
tel 026-295-1325
fax 026-295-1926
chiiki@seisen-jc.ac.jp

地域・学生・教員が一つになって 地域連携センター協議会発足

地域連携センター長
小林 敏枝

4月28日、本学において「第1回地域連携センター協議会」が開催されました。

本協議会は地域活動の促進と充実を目的として設立された協議会であり、その特徴は次の2点にあります。まず1つ目は、国際交流、まちおこし、ボランティアの分野から3名の「地域委員」の方々に参加していただいたこと、2つ目は協議会に「学生委員」が参加し、

学生の視点を取り入れたことです。つまり、地域の方・学生・教職員が一体となって、地域の活性化、人材育成など地域の課題について取り組んでいこうとするものです。

地域委員の方からは地域のニーズや私たちが知らない地域の情報を提供していただきました。学生委員からは「元気でエネルギー豊かな清泉女学院に向けての提案」など、積極的に意見交換できる機会としました。特に地域委員の方々からは「地域のニーズと本学の事業とのマッチングの必要性」「Face to Face、Heart to Heart、体験を共有するなどの絆の重要性」「一緒に作り出す活動を体験し、地域の人々との関係づくりが大切」など

心に響く多くのアドバイスをいただきました。また、学生委員からは、地域活動の体験から学んだことや地域とのつながりを強く感じ感動したことなどについて報告がありました。

「人と人がつながる」ことは人の思いがたがっていくことです。地域に根ざした清泉女学院として、今後協議会の提案を活動として展開していきたいと思えます。

協議会に参加して 地域との連携を深めたい

短大学生会議長 岩崎 静香

地域連携センター協議会に参加し、発見したことが多く、出席することができて良かったと思えます。短大学生会として、地域活動を行いたいと考えていることを発言させていただきました。その結果、地域活動をされている方から大変参考になる意見をいただくことができました。地域連携センターと学生会とが連携して地域活動が行えるようになったことは、学生会として地域活動をしていく上でとても良いスタートが切れたと嬉しく思います。

今後も地域の方々との交流・連携を深めていきたいと思えます。

見聞を広め、 より国際的な活動を

学部学生会会長 平田 唯

学部学生会では、昨年度赤い羽根募金、テーブルフォートゥといった貧しい国への援助を行ってきた。今年度も昨年度の活動を引き続き、募金活動等を行っていきます。その中でも、テーブルフォートゥの活動は、食べることを通して、貧しい国の現状を考えてもらうきっかけになればと考えています。赤い羽根募金は、今年も清泉祭で行う予定です。また、現在短大学生会との合同で、商店街のシャッターに絵を描き、地域活性化を図る活動をする予定です。

地域や、世界に関わることで、自分の見聞を広め、より国際的な活動ができるように努力していきたいです。また、先輩方から引き

継いだ活動を、もっとたくさんの方に知ってもらい、そこから発展できるようにしていきたいと思えます。

長野市と連携協定調印 清泉の専門性を 地域に活かしたい

3月24日、長野市役所において、清泉女学院大学・短期大学と長野市との連携協定書調印式が行われました。本学と長野市はすでに

くつかの事業で連携しており、今までの実績を土台に、さらに連携事業の拡大を進めていこうとするものです。

主な連携事業には、「教育・保育の推進と支援」「国際交流の推進」「地域文化の振興や地域の発展」「生涯学習の推進」などに関する事項が含まれます。幼児教育、国際交流、心理、コミュニケーション、子育て支援など、清泉女学院の専門性を生かした地域連携活動の展開が期待されます。

平成21年度 オープンカレッジのご案内 受講料1,000円

講座名	担当者・期日
子ども心の発達について	田中英明 5月30日
中国古代詩人李白・杜甫の詩を勉強しよう	王 秋菊 5月30日
観光英語 ①～④	室井美穂子/飯田由己子 5月30日・6月13日・6月20日・7月4日
遠藤周作「深い河」を読む	古橋昌尚 5月30日
子どもの造形表現	桜井 剛 6月13日
子どもと英語	Joel Thomas 6月13日
第11回映画を読む	芝山 豊 6月13日
乳児の発達と保育	丸山アヤ子 6月20日
楽しく中国語文化に触れよう①②	張 淑華 6月20日・10月31日
保育に活かす社会福祉援助技術を学ぶ①②	矢上克己 7月4日・7月11日
木の工作あそび①②	桜井 剛 8月3日・8月4日
芭蕉・蕪村・一茶の世界	玉城 司 7月4日
教育と倫理	田村俊輔 7月4日
アメリカの教育	古橋昌尚 7月4日
高齢者のための人間科学	田中英明 7月11日
小学校英語の教え方	渡邊時夫/Gregory Birch 7月11日
元気づくり	小林(房)/白沢 7月25日
ボランティア入門講座①～②	武田/ボランティアオフィス 7月30日・7月31日
夏休み子ども遊びのひろば①～③	小林(敏)/田中 8月3日・8月4日・8月5日
キリスト教とはなにかⅢ①～③	田村亮子 9月17日・10月8日・11月5日
楽しみながら文章力をつける	三島利徳 10月31日
メディアを読み解く①	三島利徳 11月14日
メディアを読み解く②	横内房寿 11月21日

お問い合わせは地域連携センターへ

生涯学習特別講演会 林望先生「言葉の品格」

5月23日、作家・書誌学者で、『イギリスはおいしい』などのエッセイでも有名な林望先生を迎え、平成21年度清泉女学院生涯学習特別講演会を開催しました。テーマは「言葉の品格」について。会場には、林先生の幅広いジャンルの本を読まれた方々も多く、期待あふれるなかで講演会が始まりました。

林先生は、今日の低俗な流行語や紋切り言葉などに対し、ユーモアを交えながら警鐘を鳴らすとともに、言葉の普遍性

や変遷について、文化や歴史、生活、風土などから多面的に説明されました。その上で、品格のある言葉とはいかなることかを考える機会をいただきました。そして、背伸びをしない、正直な言葉遣いにこそ、言葉の品格は表れるのではないかと。また、人を思いあう言葉が、知性のある日本語となると示唆されました。それは多くの聴講者にとって、言葉について考えるだけでなく、自己を振り返る機会ともなったようです。

講演会終了後には、サイン会もしていただき、大盛況のうちに終了しました。



言葉の品格

大学生活を豊かにする ボランティア活動と国際交流

5月18日、「地域活動のすすめ」と題して、学部と短大の学生を対象にボランティア活動と国際交流活動を紹介しました。

ボランティア活動の紹介としては、本学と提携を結んでいる「障害者スポーツ協会」と「長野ACバルセイロ」の方に来ていただき、それぞれの団体がどのような活動をしているのか、学生ボランティアとして何をしたいのかについて紹介していただきました。昨年からの活動している学生からの活動報告もあり、楽しみながら活動しているということがよく伝わってきました。

国際交流活動の紹介としては、昨年度、モンゴル、韓国、アメリカ、フィリピンでの海外研修に参加した学生が、パワーポイントを使って写真を紹介しながら、有意義で楽し



しかった体験を語ってくれました。

大学・短大で学んでいることを実践的に活かしたい!と思っている人はたくさんいると思います。地域連携センターでは、そのような学生のニーズをサポートしていきます。大学生活をより充実したものにするために、ぜひ思い切った一歩を踏み出してみてください!

国際青年会議所アジア太平洋会議 ASPAC長野大会に ボランティアとして参加

長野市で6月4〜7日に開催された「国際青年会議所アジア太平洋会議(ASPAC)長野大会」に、本学から学部と短大の学生42名と教職員3名がボランティアとして参加しました。この大会は、アジア太平洋地域を中心に世界各国の青年会議所のメンバーが一同に会する大きな大会です。参加した皆さんは、4月に本学で開催されたボランティア説明会を参考に、大会実行委員会事務局の方々のご指導のもと、それぞれの配属部署で受付、案内、通訳といった仕事に従事しました。

各部署に配属された皆さんは、国際大会の雰囲気や圧倒されつつも、「自分自身も楽しみな参加してほしい」という事務局の方の言葉を胸に、部署の一員として活躍していました。青年会議所では

「KOMIYARI(思いやり)」の精神を実践するために、「自分が少しでも前向きに変わること」を大切にしています。今回の大会は、ボランティアに参加した皆さんにとっても、前向きな変化に向けて一歩踏み出す良い機会となりました。



平安堂 読み聞かせ 「こどもの本の森へ」に 参加して

幼児教育科2年 丸山 美保

私は「こどもの本の森へ」に参加し、子どもが大好きな大型絵本の読み聞かせをしました。多くの本が売られている部屋の隅に用意された、子どもたちのための小さな空間が、私たちの活動の場でした。最初に来てくれたのは、小学生の女の子とそのおばあちゃん。読み始めると絵本を買いに来た方も見えてくれました。子どもたちのために:~:と頑張っていたのに、だんだん大人の人も多くなり緊張しました。でも普段経験できないことなので、自分にはプラスになりました。子どもたちとの距離がとて近く、少人数だったので子どものペースに合わせて読め、楽しんでもらえることができました。自分自身も楽しめた活動だったので、またやりたいと思います。

ボランティア活動は、参加した私たちにとって、とてもプラスになることなのだ改めて感じました。

「長野車いすマラソン」 感動をありがとう!!

幼児教育科2年 後藤 佳恋

4月18・19日、「長野車いすマラソン」のボランティアに参加しました。

18日は受付だったのですが、私は旗を持って車での来訪者の案内をしました。そこで私が驚いたのは、遠方から、しかも選手自身が車を運転してきていたことです。そしてみんな気さくな方ばかりで、とても嬉しかったです。



19日はゴール地点の準備でした。その他の時間は走路の端に立って見守っているだけだったので、私たちは精一杯応援し続けました。皆さん本当に一生懸命走っていました。暑い中、辛い姿に感動しました。私たちの前には選手の方々がいて、「パパまだかなあ〜」とか、姿が見えると「パパ来た!頑張れ!」と声をかけられるように、家族って素晴らしいなと思いました。

韓国・漢陽女子大学と Web 交流会議

6月に来日する韓国の姉妹校・漢陽女子大学の学生と、Web上で交流会議を開催。会議では大学の環境や文化、風潮(芸能関連、ファッション等)などを含めて討論を行いました。リアルタイムで交流できるWeb会議は、国境を越え、場が一つになれると感じました。(Web交流会議 5月27日(水)午後4時半〜5時半)



海外研修プログラム

- ★オーストラリア研修 日程/8月15日~29日
●内容/語学研修(初心者)+チャイルドケア・ボランティア活動
- ★フィリピン文化研修 日程/8月1日~10日
●内容/幼稚園でのボランティア活動と現地NGO視察
- ★韓国文化研修 日程/9月8日~15日
●内容/漢陽女子大生との交流(日本語通訳学科・幼児教育科)
- ★モンゴル文化研修 日程/9月7日~14日
●内容/学生交流と文化交流、草原ホームステイ